

「民話 ゆうわ座」では、誰もが知っている日本の民話を題材に、「みやぎ民話の会」が約45年にわたって記録してきた、民話語りの映像や音声を見たり聞いたりします。聞きくらべて感じたみなさんの思いや考えを自由に語り合う場です。先祖の声に耳をすませ、民話世界に遊び、心ひかれることを語り合ってみませんか。

<https://www.smt.jp/projects/minwa/>

「民話 声の図書室」で行われるさまざまな取り組みや、これまで開催されたイベントのレポートを閲覧できます。

- ◆ お問い合わせ  
saras919@soleil.ocn.ne.jp (みやぎ民話の会・小田嶋)
- ◆ 主催  
みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチーム  
せんだいメディアテーク
- ◆ 助成  
一般財団法人 地域創造

**smt** せんだいメディアテーク  
仙台市青葉区春日町 2-1  
022-713-4483

トークネットホール仙台 (仙台市民会館)	東京エレクトロニクスホール宮城 (宮城県民会館)	仙台市役所 ● 定禅寺通	宮城県庁 ● 勾当台公園		
	広瀬通				至盛岡
西公園通	晩翠通 青葉通	国分町通	東一番丁通	東二番丁通	愛宕上杉通
● 05 大町西公園			● 06 青葉通一番町		● 16 仙台 ● 07 仙台
					JR 仙台駅

この用紙はリサイクルできます

# 民話 ゆうわ座



- 話に遊び 輪を結び 座に集う -

第六回 いまここにも開いている民話の入口

## 民話のなかのじじとばば

一粒の豆をめぐる

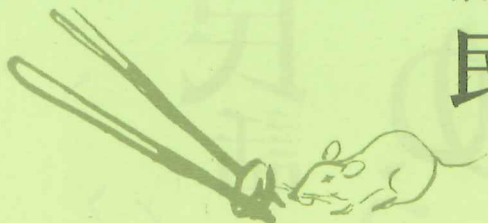
「むかしむかし、あるところに、おじいさんとおばあさんがありました」  
日本の民話は、そんなふうにはじまる話がとてもたくさんあります。  
先祖はなぜ、じじとばばから、いつもお話を語り始めてきたのでしょうか。みなさんと一緒に考えてみたいと思います。

2018年12月22日(土) 午後1時から午後4時まで  
せんだいメディアテーク 1f オープンスクエア

申込不要・参加無料・直接会場へ

# 民話のなかのじじとばば

## ～ 一粒の豆をめぐる ～



「日本の民話の中でどんなお話を知っていますか？」こう問いかけると、「桃太郎」や「かちかち山」や「花咲か爺」というお話があげられるかもしれません。それらの話はみな、「むかし、あるところに、おじいさんとおばあさんがありました」と、そんなふうが始まります。お話の中のじじとばばは、どんなところに、どんなふうに住らしていたのでしょうか。先祖はなぜ、じじとばばから、いつもお話を語りはじめてきたのでしょうか。なにげなく聞いていた民話の奥に、いまのわたしたちへの問いかけが、隠れているかもしれません。

### 民話 ゆうわ座の流れ

『民話 ゆうわ座』について 小田嶋利江

みなさんへの問いかけ

日本の民話の中でどんなお話を知っていますか？

伝承の語り手が語る「一粒の豆」をめぐる民話の映像 その一

『豆つこと地蔵さま』 伊藤 正子さん（宮城県登米市迫町新田・大正十五年～平成二十九年）

『豆と地蔵さま ー地蔵浄土ー』 永浦 誠喜さん（宮城県登米市南方町青屋敷・明治四十二年～平成十四年）

伝承の語り手が語る「一粒の豆」をめぐる民話の映像 その二

「一粒の豆つこ」 伊藤 正子さん

みなさんと感想や意見の交換 その一

聞いたことがある…ここが不思議…ここが面白い…

採訪者がとらえた「民話のなかのじじとばば」～一粒の豆をめぐる～

〈話題提供〉小野和子

みなさんと感想や意見の交換 その二

なんでこんな話なんだろう…何を伝えようとしているのかな…



※「民話 声の図書室」とは…

「民話 声の図書室」は、「みやぎ民話の会」が約45年にわたって記録してきた、宮城県を中心とする民話語りの映像・音声を、せんだいメディアテークと協働し、だれもが活かせる共有財産として、未来へ受け渡していこうとする活動です。これまでに、7名の伝承の語り手による民話語りのDVDが18タイトル完成し、せんだいメディアテーク2f映像・音響ライブラリーに配架されています。閲覧・貸出が可能です。土地の声で語られる民話に、ぜひ耳をすませてみてください。